

平成30年第28回公安委員会会議録

日 時	10月25日（木曜日） 自午後1時30分 至午後4時20分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	高木委員長 原委員 山本委員 小野委員 下山委員	
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長	

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞9件、意見の聴取26件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

1 玉東町発注の道路維持工事をめぐる贈収賄事件の検挙について

平成30年4月中旬、熊本県内において発生した贈収賄事件につき、同年10月13日（土）同日、被疑者A（地方公務員、54歳）を収賄罪で、被疑者B（会社役員、53歳）を贈賄罪でそれぞれ検挙した。

2 「第29回熊本県暴力追放県民大会」の開催について

(1) 開催趣旨

暴力団等反社会的勢力は、依然として様々な不法行為等を敢行しており、社会にとっての大きな脅威であることに鑑み、県民とともに、あらゆる暴力を追放し、暴力団のいない明るく住みよい熊本県の実現を目指すことを目的として開催するもの

(2) 開催日時・場所

平成30年11月2日（金） 午後1時30分から午後4時まで  
熊本市中央区水前寺公園28番51号 ホテル熊本テルサ「テルサホール」

(3) 主催

公益財団法人熊本県暴力追放運動推進センター、熊本市

(4) 後援

熊本県、熊本県警察、公益社団法人熊本県防犯協会連合会、JCPO（企業・警察連絡協議会）

(5) 出席予定者

ア 主催者

公益財団法人熊本県暴力追放運動推進センター理事長、同副理事長  
熊本市長、熊本市市民局市民生活部長

イ 来賓

熊本県知事、熊本県議会議長、熊本県公安委員会委員長、熊本市議会議長、

熊本県弁護士会会長、公益社団法人熊本県防犯協会連合会会長、JCPO会長、大会宣言朗読者、熊本県警察本部長

ウ 参加見込人数

約500人

#### (6) 大会実践スローガン

暴力団追放3ない運動+1（プラスワン）

- 暴力団を利用しない      ○ 暴力団を恐れない
- 暴力団に金を出さない      ○ 暴力団と交際しない

#### (7) 大会次第

ア 第1部（13：30～）

- (ア) 開会宣言
- (イ) 国歌斉唱
- (ウ) 表彰(暴力追放功労)
- (エ) 主催者代表挨拶、来賓祝辞
- (オ) 来賓、主催者紹介
- (カ) 大会宣言

イ 第2部（14：20～）

- (ア) 基調講演 第一東京弁護士会所属 弁護士 ひぐち まさと 樋口 真人 氏
- (イ) コンサート 熊本県警察音楽隊

ウ 閉会（16：00）

#### 【委員からの質問等】

委員から「コンサートを組み合わせる構成か」旨の発言があり、警察から「毎回、最後に県警音楽隊のコンサートを行っている」旨の説明があった。

#### 3 宇土市南段原町における殺人事件の発生・検挙について

平成30年10月23日（火）、熊本県宇土市所在の老人ホームにおいて発生した殺人事件につき、同日、被疑者A（無職、80歳）を殺人未遂罪で現行犯逮捕した。

なお、今後殺人罪に切り替え事件送致予定である。

#### 【委員からの質問等】

**委員**から「老人ホームを所管する行政に対して、入所者の刃物所持の徹底を働き掛けてもらいたい」旨の発言があり、**警察**から「大切なことと思っている」旨の説明があった。

#### 第3 報告・決裁等

##### 1 監察関係の報告

首席監察官から報告が行われた。

##### 2 警察学校の整備関係の説明

会計課長から説明が行われた。

##### 3 殉難警察職員慰霊祭の説明

厚生課管理官から説明行われた。

##### 4 苦情（H30No.14）回答の決裁

捜査第一課長から説明があり、決裁が行われた。

- 5 犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律に基づく  
犯罪被害者等給付金の支給裁定案の決裁  
犯罪被害者支援室長から説明があり、決裁が行われた。
- 6 平成30年第27回公安委員会会議録の決裁  
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 7 熊本地方検察庁からの捜査関係事項照会書の決裁  
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。